

0 はじめに

令和5年1月16日より実証運行を開始した矢作デマンドは、令和5年4月に実施した会員アンケートや利用状況を踏まえ、令和5年7月に運行内容を一部変更した。(図1参照) 変更による影響及び矢作地域住民の移動需要についてのより長期的なデータを確認するため、本格運行への移行を目指すため、今回、実証運行期間を半年間延長する。

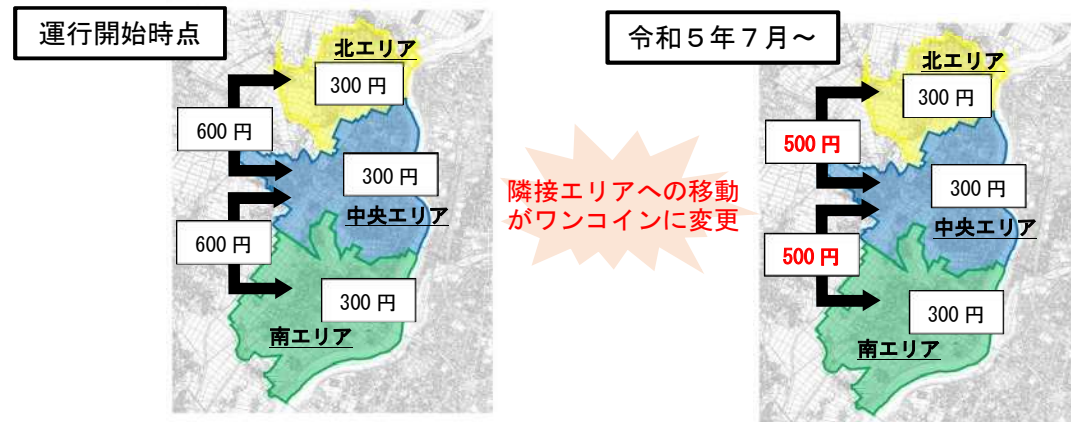
1 協議事項等

(1) 協議事項	「矢作デマンド」実証実験第1期運行計画の延長について ※1
(2) 期間	【延長前】令和5年1月16日(月)～令和5年9月30日(土) 【延長後】令和5年1月16日(月)～令和6年3月31日(日) ※半年間延長
(3) 検証事項	①令和5年7月の運行内容の変更に伴う影響 運賃設定の変更による隣接エリアへの移動量の変化及び移動ルールの変更による岡崎線及び坂戸～小望区間の沿線住民の移動量の変化を確認する。 ②交通不便地域における住民の利用状況 鉄道駅やバス停の徒歩圏から外れる地域住民の利用状況を、実利用者の分布データ等で確認する。 ⇒①及び②について確認し、矢作デマンドが本実証運行の目的である日常生活における移動手段の確保(図2参照)に繋がっているかを検証していく。
(4) 協議状況	令和5年6月20日 第34回矢作デマンド導入検討会議 令和5年7月11日 第35回矢作デマンド推進会議 ※2

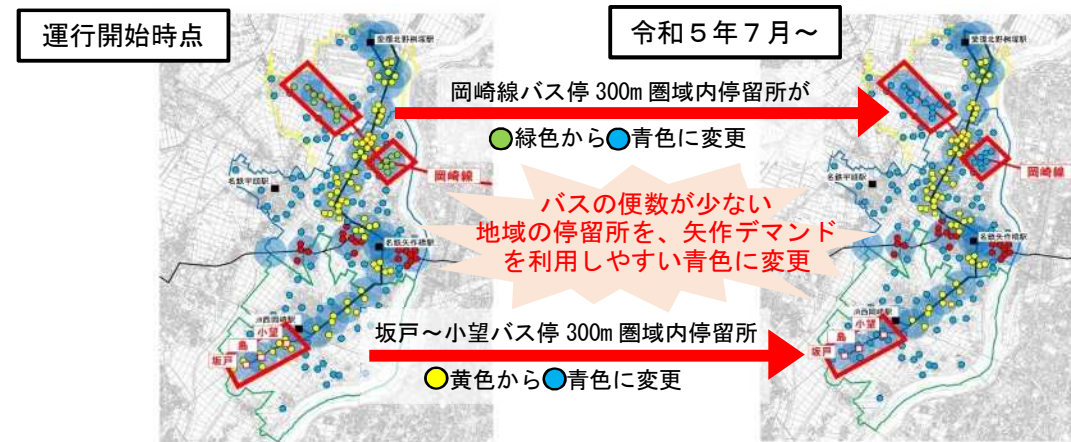
※1 詳細は資料2別冊①「矢作デマンド」実証実験第1期運行計画(案)

※2 会議名称変更

【図1】令和5年7月からの変更内容
変更① 運賃設定の変更



変更② 既存路線バスの便数の実態に合わせた移動ルールの変更

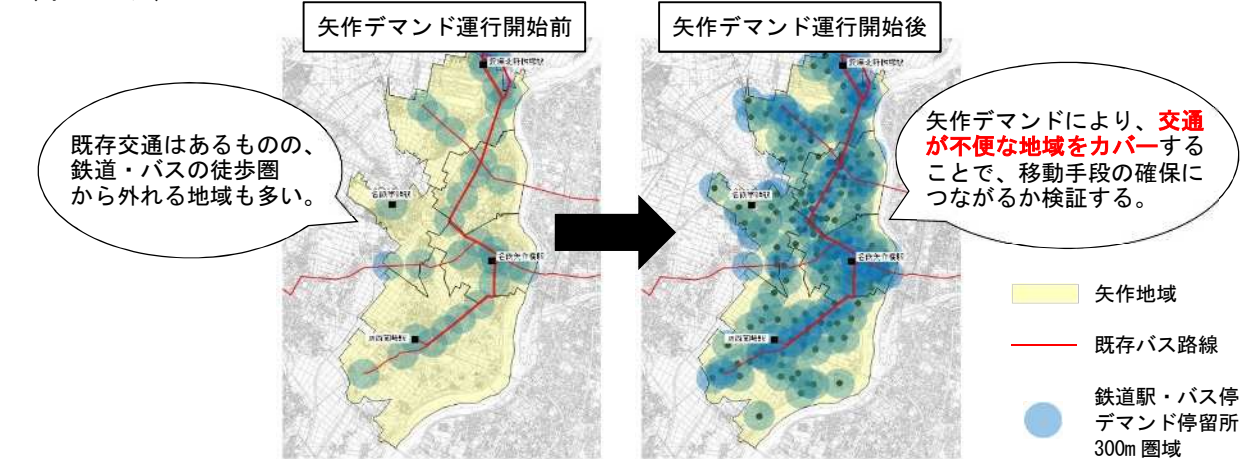


【移動ルール】●…どの色の停留所でも移動可 ●●●…同じ色どうしの移動は不可

【図2】実証運行の目的

鉄道・バスの徒歩圏から外れる地域も多く存在する矢作地域にて、矢作デマンドを実証運行することで、日常生活の移動手段の確保に繋がるか検証するため。

(イメージ)



2 利用状況等 ※1

※令和5年6月末時点

会員数<うち65歳以上>	1,748人 <1,293人(74%)>
延べ利用者数	962人
1日あたり利用者数	8.4人 <4.7人(R5.1)→11.3人(R5.5)と大幅増>
実利用者数	110人
会員実利用者割合	6.3%
乗合率	1.10人/便
市費負担額	約12,150千円 ※2
利用者1人あたり市費負担額	約8,000円 <市費負担額12,150千円÷利用者数1,487人> ※2
収支率	4.7% <収入600千円÷経費12,750千円> ※2
その他傾向等	・午前中の利用が多い(全体の約65%) ・当日予約が多い(全体の約76%) ・通院時の利用が多い(降車停留所1位が「おほりクリニック」)

※1 詳細は資料2別冊②「矢作デマンド」現状報告書

※2 R5.1.16～R5.9.30までの見込

3 今後について

- ・第1期の利用状況等を踏まえ、令和6年4月以降の実証運行の継続等を検討していく。
 - ・1人あたり市費負担額が約8,000円という現状も含め、今後、矢作地域において持続可能な交通として運行していくためのサービスレベル(車両台数、運行日数及び運行時間帯等)の見直し※も検討していく。
- ※見直しの例：午後の利用が少ない実態や車両稼働状況を確認したうえでの車両台数の見直し
(現在)2台 → (見直し後)午前2台、午後1台

【図3】スケジュールイメージ

	R5												R6									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
運行計画期間	1/16→ 第1期 →3/31												実証運行の継続等									
運行内容	当初案												本日【協議】R5.10～R6.3半年間延長 R5.7変更案									
交通政策会議		★				★				★		★		★				★		★		★
矢作デマンド推進会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○